

三見小中学校 グランドデザイン

校訓

確かさ たくましさ 豊かさ

学校教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び、
心豊かにたくましく
生き抜く子どもの育成

山口県 教育目標

未来を拓くたくましい
「やまぐちっ子」の育成

萩市 教育目標

ふるさと萩を誇りとし、高い志を抱き、人や社会と積極的に関わる子どもの育成

チャレンジ目標

元気にあいさつ

めざす学校像

- 笑顔があふれる学校
- 誰もが足を運びたくなる学校
- 誰もが誇りに思える学校

研修テーマ

自分の思いや考えを表現し、
学びを深め合う児童生徒の育成
～ICTを有効に活用した授業づくり～

めざす子ども像

- ふるさとを愛する子
- 進んで学ぶ子
- 豊かな人間関係を築く子
- 目標に向かって最後までやり抜く子

めざす教職員像

- 子どものよさを引き出し育てる教職員
- 保護者の願いや地域とのつながりを大切にする教職員
- 同僚性を高め、協働する教職員

経営方針

リーダー学習を生かした小・中つながりのある授業を目指し、主体的に学びあう児童生徒の育成を行うことで、へき地複式教育の推進を図るとともに豊かな人間関係を築く。

小学校6年間、中学校3年間の6・3制は維持しつつ、指導内容の重点化と指導体制の工夫により、義務教育9年間で前期4年・後期5年と捉えた取組を展開する。

小中一貫教育のキーワードを、「系統」「協働」「一貫」と捉え、プロジェクト型校務分掌が中心となって企画し、全教職員が児童生徒の指導にあたる。

9年間のよりよい成長を促すために、校務分掌・P T A組織・学校運営協議会の部会をプロジェクト化し連動させ、「さんみ一体」となって教育効果があがるようにする。

学校

三見地域がめざす子ども像

豊かな人間関係を築く子ども

コミュニティ・スクール
協育ネット（さんさんネット）
地域連携カリキュラムの推進

地域

家庭

さんみ一体

本年度の重点目標

- 1 ICTの有効的な活用（学力向上、情報発信、他校との連携）
- 2 小中一貫教育の充実（「系統」「協働」「一貫」）
- 3 豊かな人間関係の構築（自己有用感を高める）
- 4 「さんみ一体」の取組（学校・家庭・地域との協働）